

株式会社 岐孝園

SDGs宣言

2025年 3月10日

株式会社 岐孝園

代表取締役 加藤 孝義

当社は国連が提唱する「持続可能な開発目標（SDGs）」に賛同し、事業活動を通じて持続可能な社会の実現に貢献してまいります。

SDGsの達成に向けた取り組み

「商品・サービス」

日本一のサボテン栽培面積を誇る企業として、多品種かつ高品質なサボテンの普及に努めるとともに、消費者・従業員・取引先など関わるすべての人に「愛情」をもって事業を行い、豊かな地域社会の実現に貢献してまいります。

<主な取り組み>

- ✓ MPS（花き産業総合認証プログラム）に基づく、高品質かつ安全な事業体制の構築
- ✓ ニーズに柔軟に対応できるサボテン・多肉植物・観葉植物の取り扱いを推進
- ✓ 個人のお客様から法人取引まで対応できる体制を整え、サボテンの普及を促進



「環境」

MPS（花き産業総合認証プログラム）に基づく事業運営を徹底し、環境負荷の軽減に努めることで、持続可能な農業の発展に貢献してまいります。

<主な取り組み>

- ✓ 高効率ビニールハウスの活用により断熱効果を高め、事業所内の LED 導入などを通じてエネルギー消費の削減に貢献
- ✓ 再生資源タンボールの積極的な活用
- ✓ マニフェストに基づく廃棄物の適正処理と削減の推進



「人権・働きがい」

ダイバーシティ経営の実現を目指し、健康経営の推進と働きやすい職場環境の整備に取り組み、すべての従業員が安心して楽しく働ける会社づくりを進めてまいります。

<主な取り組み>

- ✓ 定期健康診断のフォロー・コミュニケーション機会の創出により健康でいきいきと働ける職場環境を整備
- ✓ 外国人実習生の寮整備など、多様な人材が働きやすい労働環境を構築
- ✓ 短時間勤務など柔軟な勤務形態を導入し、ワーク・ライフ・バランスの実現に貢献



「地域貢献・社会貢献」

地域活性化に向け、サボテンを地元の名産品として普及・促進するとともに、次世代人材の育成支援、社会貢献活動の継続、コミュニティとの積極的な交流を通じて持続可能な地域社会の実現に貢献してまいります。

<主な取り組み>

- ✓ 職場体験の実施を通じて、地域の学生の教育を支援
- ✓ 地元のもみ殻・鶏糞・燐炭を積極的に活用
- ✓ 瑞穂市との繋がりを深める取り組みを継続して推進
- ✓ サボテンを地元の名産品として広く発信し、地域活性化に貢献



SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



SDGsとは

SDGsとは、Sustainable Development Goals（持続可能な開発目標）の略称で、2015年9月に国連で採択された2030年までの国際目標。「地球上の誰一人取り残さない」をスローガンに、持続可能な社会の実現を目指しており、経済・社会・環境などの分野で17の目標と169のターゲットで構成されています。